



- ①よさを伸ばし合う子ども
- ②つながりを大切にする子ども
- ③自らとふるさとを拓く子ども



いよいよ本格的な冬到来です



ご心配をおかけしましたインフルエンザの流行も落ち着きました。現在は来週26日(火)の県ICT事業授業研究協議会に向けて、準備を進めています。

今週は先週と比べ、一気に気温が下がり、初雪、積雪も観測されました。日本海から吹き付ける冷たい風が、本格的な冬到来を知らせています。

登校時は、ほとんどの児童は手袋や耳当て等の防寒具を着用していますが、中には、車で送られてくるせいか、薄着で登校する児童も見られます。お子さんの防寒具に気を配り、これからやって来る本格的な冬に備えていただきたいと思います。

チューリップ球根植え



11月18日(月)、1・2年生でチューリップの球根を植えました。時折、雪が舞う寒い天候でしたが、2年生が1年生に植え方を教えながら、一つのプランターに5個ずつの球根を植え、合計で40個のプランターに球根を植えました。

春には色とりどりのチューリップが咲くことを楽しみにしています。



今週は学習強調期間でした。

勉強に集中できる色って何でしょう？

緑や黄など、集中力を高める効果のある色はたくさんありますが、代表的なものは「青」だそうです。

青色の照明の下で過ごす、脳内のアルファ波が増え、集中しやすい状態を作るのだそうです。

机周辺に青や緑のものを取り入れても効果があるといえます。

筆箱やペン、消しゴムのような文房具の配色を意識してみてもどうでしょうか。



消防署見学

11月21日(木)、3年生が八峰消防署を訪れ、消防庁舎内や消防車・救急車の見学をしました。

署員の方が、施設や実際の装備、緊急車両の中の様子を一つずつ丁寧に教えてくださいました。

私たちの暮らしを守ってくれている消防士の方々の日々の努力や工夫などについて、知ることができました。教科書や動画では学べない、貴重な体験でした。



今週の1枚

11月21日(木)、能代警察署と少年保護育成委員の方々による「あいさつ運動」がありました。児童玄関前に立ち、大きな声で「おはようございます」と挨拶を交わしました。



授業の様子から



【1年】道徳

登場人物が、いつもと同じ朝でも、いろいろなことがすてきに思えたのはなぜなのかを考えています。日常の生活を振り返らせ、自分の生き方を見つめさせていました。

【2年】体育

跳び箱を跳んでいます。跳び箱に手をついたとき、頭を前に突っ込みすぎないように指示を受け、気を付けながら跳んでいました。跳んだ後のポーズがきまっています。



【3年】社会

学校内の消防設備を調べています。グループに分かれて、理科室や体育館、廊下などにある消火栓や防火扉などの場所やその役割についてまとめていました。

【4年】国語

登場人物の様子や行動、会話などを表す言葉に着目して、登場人物の特徴を読み取りました。この教材を通して、物語文を読み解いていく方法を学んでいます。



【5年】社会

自動車工場の写真から、「何を作っているのか」や「自動車はいくつの部品でできているのか」など、様々な疑問が出て、これからの学習の見通しをもつことができていました。

【6年】図工

将来の自分を想像して、紙粘土を使って立体に表しています。手にハンマーを持たせたり、バットを握らせたりしながら、将来の自分を楽しそうに表現していました。

これは、今月で失踪してから47年が過ぎた横田めぐみさんの母、横田早紀江さんの短歌です。「いつてきます。」と出たきり、当時中学一年生のめぐみさんは失踪しました。そのめぐみさんが中学校の旅行でお土産に買ったのが、小さなサボテンでした。

失踪後、しばらくして、そのサボテンが小さな黄色い花を一輪だけ咲かせたそうです。その後もし長し続け、大きくなったサボテンは、今では大きな花をつけているといいます。

自然のサボテンは、砂漠などの過酷な環境に耐えて、短い雨季に待ちに待ったとばかりに花を咲かせます。その花に娘の生存の希望を託す母親の思いに胸が熱くなります。一刻も早い解決を願わずにはいられません。

私たちは恵まれた環境の中に生きています。現状に甘んじることなく、自身の向上に努め、それぞれの花を咲かせてほしいと思います。

つぎ

サボテンの花

昨年の夏、校長室の観賞用に、100円ショップから小さい丸型のサボテンを購入しました。今年に入ってから大きく育ち始め、今では買ったときの3倍ほどの背丈となりました。

正直なところ、最初はさほど愛着をもってはいなかったのですが、子株も生えてきて、鉢が窮屈になってくるなど、毎日の生長を見ているうちに、愛らしさを感じ、現在は仕事の合間に窓辺のそれを見るのがささやかな楽しみとなっています。

そんな折、新聞の一面に、サボテンを句材にした短歌を目にしました。

消えし娘よ 残せるサボテン 花咲けり
かく小さくも 生きよと願う

